

1. 標準予防策と感染経路別予防策

●標準予防策（スタンダードプリコーション）とは

すべての人の血液、体液、汗を除く分泌物、排泄物、粘膜、損傷のある皮膚は、感染性があると考えて対応します。（CDC：アメリカ疾病対策センター）

●感染症が明らかな場合は、標準予防策に加えて感染経路別予防策を行います。感染経路別予防策には、空気予防策、飛沫予防策、接触予防策の3つがあります。

感染症と感染経路別予防策一覧（標準予防策はあらゆる場合に適応する）

予防策	感染経路	よくみられる感染症
標準予防策 ◆ 血液・体液・分泌物・排泄物などが口・鼻に飛散する可能性がある場合→マスクを使用 ◆ 目に飛散する可能性がある場合→ゴーグルを使用 ◆ 衣類などに飛散する可能性がある場合→プラスチックエプロンを使用 ◆ 手に触れる可能性がある場合→手袋を使用	すべての人の血液、体液、汗を除く分泌物、排泄物、粘膜、損傷のある皮膚	B型肝炎 C型肝炎 HIV感染 食中毒 尿路感染 梅毒 白癬（真菌症、水虫） 創部感染（局所、限定）

疾患あるいは症状・徴候に応じて下記感染経路別予防策をプラスして実施する

接触感染予防策 ガウン,手袋の使用など	皮膚と皮膚の接触、体位変換、入浴などの直接的ケアから体液・体物質に触れたとき 汚染された器具、包帯 汚染手袋から	疥癬 MRSA感染症 ノロウイルス感染症 ロタウイルス感染症 流行性角結膜炎（ウイルス性） 創部感染（大）
飛沫感染予防策 サージカルマスクの使用など	咳・くしゃみ・会話・気管内吸引から	インフルエンザ 風疹 流行性耳下腺炎
空気感染予防策 N95 マスクの使用、ワクチン接種など	空気の流れに乗って拡散した飛沫核	麻疹 水痘 結核 带状疱疹